

平成27年度事業報告書

(平成27年4月1日 ~ 平成28年3月31日)

公益財団法人DNP文化振興財団

平成27年度事業報告書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

1 アーカイブ関連事業

(1) 田中一光アーカイブ

①本人作品 ポスター	2,732 点
版画	259 点
エディトリアル	2,618 点
原画類	2,153 点
その他 (パンフ/V. I. 等)	4,050 点
②資料写真	25,447 点
その他資料類	4,915 点
③他作家作品 ポスター・版画等	1,135 点
その他	1,912 点
④蔵書	6,822 点

(2) 福田繁雄ポスターアーカイブ

①本人作品 ポスター	1,608 点
版画	178 点
その他 (クラフト作品等)	601 点
②資料 書籍等	289 点
③他作家作品 ポスター・版画	1,434 点

(3) 永井一正作品アーカイブ

①本人作品 ポスター	870 点
版画	333 点
エディトリアル	1,163 点
その他 (パンフ等)	1,677 点
②資料 作品ポジ	647 点
その他資料類	2,170 点
③他作家作品 ポスター・版画等	142 点
その他	63 点

(4) ポスターアーカイブ (平成28年3月末現在)

1 収蔵作家：235名 (国内作家116名 海外作家119名)

2 総点数：14,098点

3 平成27年度の受入れ状況：

[国内作家]

浅葉克己	1,309点
奥村靱正	4点
葛西薫	4点
勝井三雄	4点
佐藤晃一	4点
佐野研二郎	8点
大日本タイポ組合	50点
服部一成	4点
原研哉	4点
永井一正	4点
仲條正義	4点
松永真	4点

計1,403点

[国外作家]

スタンリー・ウォン 13点

計 13点 合計1,416点

(5) アーカイブ作品の貸出

① 諸橋近代美術館

「アメリカが愛したダリ展」

会期：2015年4月20日 ～ 6月28日

概要：ロイ・リキテンスタイン作品5点を貸し出し

② 奈良県立美術館

「田中一光 美の軌跡」

会期：2015年6月13日 ～ 7月20日

概要：田中一光作品22点、早川良雄作品2点を貸し出し

③ 豊橋市美術博物館、

「岡本太郎と中村正義 東京展」

川崎市岡本太郎美術館(巡回)

会期：2015年8月8日 ～ 9月27日 豊橋市美術博物館

10月17日 ～ 2016年1月11日 川崎市岡本太郎美術館

概要：永井一正作品1点、石岡瑛子作品1点を貸し出し

- ④韓国国立近現代美術館 日韓国交正常化50周年記念「グラフィック・シンフォニア」展
会期:2015年8月11日 ~ 10月18日
概要:所蔵ポスターアーカイブ作品より35作家、81点を貸し出し
- ⑤武蔵野美術大学美術館・図書館 ムサビのデザインV :1960-80年代、日本のグラフィックデザイン
寄贈記念、永井一正・田中一光・福田繁雄・石岡瑛子の
ポスターから
会期:2015年9月1日 ~ 11月7日
概要:永井一正版下、原画類10種・19点を貸し出し
- ⑥市原湖畔美術館 「巨匠シリーズの個展 浅葉克己展
—磯辺行久、原広司、つづく3人目」
会期:2015年10月10日 ~ 2016年1月11日
概要:浅葉克己作品10点を貸し出し
- ⑦京都市立芸術大学 ビジュアルデザイン専攻公開講座
「田中一光 一手の痕跡をたどる —」
会期:2015年10月14日
概要:田中一光作品、原画類43点を貸し出し
- ⑧クリエイションギャラリーG8 「30年30話」展
会期:2016年2月1日 ~ 3月18日
概要:所蔵ポスターアーカイブ作品より20作家、28点を貸し出し

(6) アーカイブ作品の寄贈

①2015年6月 プラハ美術工芸博物館に下記作品を寄贈しました。

田中一光ポスター 340点、福田繁雄ポスター 400点、永井一正ポスター 400点

②2016年2月 米国ウォーターミル・アート・センターに下記作品を寄贈しました。

永井一正ポスター 20点

2 展示関連事業

(1) ggg(ギンザ・グラフィック・ギャラリー)の展示

〒104-0061 中央区銀座 7-7-2 DNP 銀座ビル1階、地下1階

日曜・祝祭日休館 11:00a.m.ー7:00p.m.(土曜日は6:00p.m.まで) 入場無料

■第344回 TDC展2015

会期: 平成27年4月3日~4月28日

入場者: 5613名、一日平均: 256名

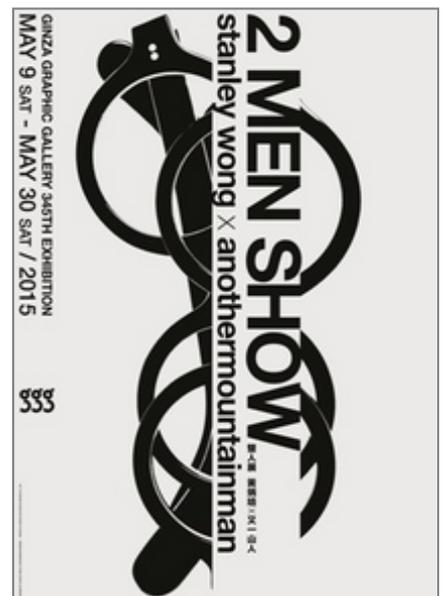
4月に恒例開催の東京TDC展は、東京TDC賞2015の応募の中から、厳選されたグランプリ1点、タイプデザイン賞1点、RGB賞1点、ブックデザイン賞1点、特別賞3点、TDC賞5点の受賞作品のほか、ノミネート作品、優秀作品など国内外のタイポグラフィ作品約150点あまりの作品を展示紹介しました。

■第345回 2MEN SHOW展

会期: 平成27年5月9日~5月30日

入場者: 2606名、一日平均: 137名

香港で活躍するグラフィックデザイナー、スタンリー・ウォンの個展を開催しました。コマーシャルワークをスタンリー・ウォン氏として、アーティスト活動をアナザーマウンテン氏として、ふたつの顔を持つひとりの作家の活動を紹介しました。オープニングパーティーには、香港から来日した関係者と日本のグラフィック関係者との盛況な交流会も行われました。



■第 346 回 ライゾマティクス展

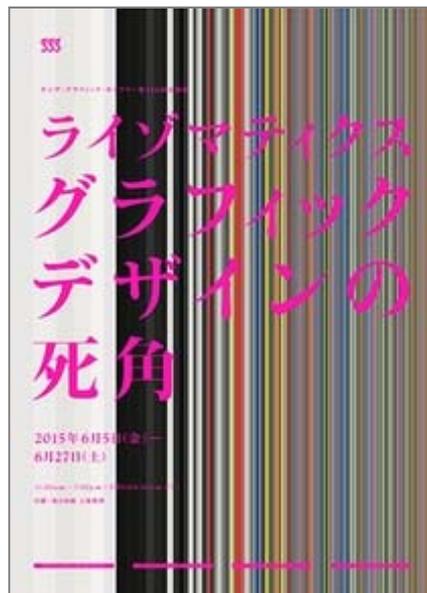
グラフィックデザインの死角

会期：平成 27 年 6 月 5 日～6 月 27 日

入場者：6591 名、一日平均：330 名

ライゾマティクスは、パフュームや坂本龍一といった音楽業界とのコラボレーション活動で注目されるクリエイター集団です。

田中一光、福田繁雄、永井一正、横尾忠則のポスター作品の色彩や構図などのデータからコンピューターによって生み出される新たな感性の作品を展示しました。

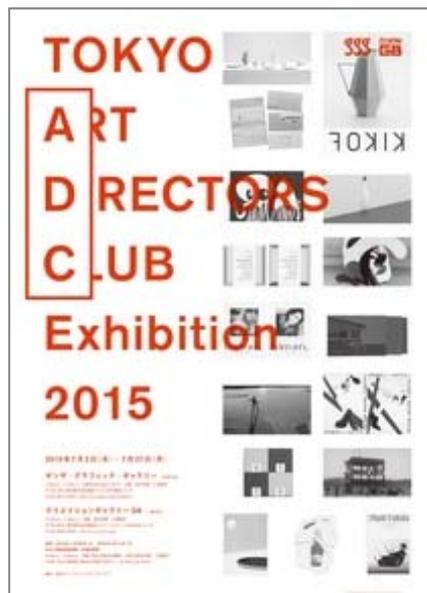


■第 347 回 2015ADC展

会期：平成 27 年 7 月 2 日～7 月 27 日

入場者：6183 名、一日平均：294 名

2014年5月から15年4月までの1年間に発表されたポスター、新聞・雑誌広告、エディトリアルデザイン、パッケージ、CI・マーク&ロゴ、ディスプレイ、テレビコマーシャルなどのジャンルの広告コンペティションの受賞作品の展覧会。今回の応募作品は、約8500点で、80名の会員による審査で受賞作品、優秀作品が決定。リクルート社が運営するG8ギャラリーと合同で作品を展示しました。



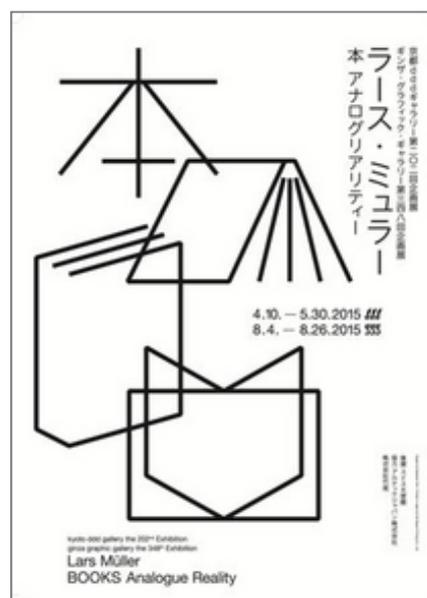
■第 348 回 ラース・ミュラー展

本 アナログリアリティー

会期：平成 27 年 8 月 4 日～8 月 26 日

入場者：4275 名、一日平均：214 名

京都dddギャラリー(4、5月開催)からの巡回展。



■第 349 回 色部義昭展

WALL

会期：平成 27 年 9 月 2 日～9 月 28 日

入場者：3895 名、一日平均：195 名

色部氏は、VI、サイン計画、ブックデザインなど幅広いデザイン分野で活躍する作家です。社会の中でどのようにグラフィックデザインを活かすのかをテーマとした活動を紹介しました。東京に設置された街区表示板の書式、書体、色、形を統一してリデザインするといった提案性の高い作品も展示しました。



■第 350 回 21 世紀琳派ポスターズ展

10 人のグラフィックデザイナーによる競演

会期：平成 27 年 10 月 5 日～10 月 27 日

入場者：5693 名、一日平均：300 名

琳派400年記念のイベントとして本展を開催しました。グラフィックデザイナー10名が、「琳派」をテーマにB倍サイズの4連ポスターを制作し、現代に継承されている琳派のイメージを紹介しました。出展作家：浅葉克己、奥村鞆正、葛西薫、勝井三雄、佐藤晃一、永井一正、仲條正義、服部一成、原研哉、松永真



■第 351 回 大日本タイポ組合展

字字字

会期：平成 27 年 11 月 4 日～11 月 28 日

入場者：5408 名、一日平均：258 名

大日本タイポ組合とは、二人で活動するタイポグラフィ作家ユニットです。ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベットを分解したり、結合させたりした文字デザイン作品を紹介しました。会場は、ユニークな文字で壁面、床面が満載となりました。





(2) ddd(京都dddギャラリー)の展示

〒616-8533 京都市右京区太秦上刑部町 10

11:00-19:00(土曜は 18:00p.m.まで) 日曜・祝日休館 入場無料

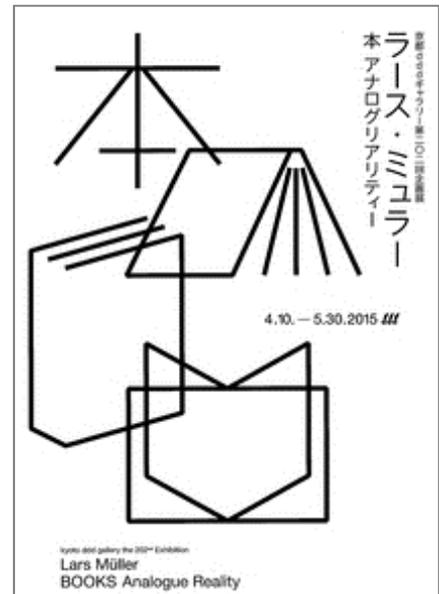
■第 202 回 ラース・ミュラー展

本 アナログリアリティー

会期: 平成 27 年 4 月 10 日~5 月 30 日

入場者: 1672 名、一日平均 42 名

ラース・ミュラーは、スイスを拠点として、国際的に活躍する出版者であり、デザイナーでもあります。建築、デザイン、タイポグラフィ、ほか社会問題などをテーマとしたデザイン性に優れた数々の本を出版してきました。会場には、机の上に置かれた書籍をじっくり観る空間と壁面の書棚に設置した書籍を気軽に観る空間で、ブックデザインを紹介しました。



■第 203 回 TDC展2015

会期: 平成 27 年 6 月 8 日~7 月 31 日

入場者: 1247 名、一日平均 27 名

gggからの巡回展。



■第204回 20世紀琳派 田中一光展
 会期：平成27年8月18日～10月29日
 入場者：4248名、一日平均62名

本展は、琳派400年記念イベントとして開催しました。田中一光は、奈良生まれ、京都で学生時代を過ごし、日本の伝統美、琳派に大いに触発されたといわれています。当財団の所蔵する田中一光アーカイブ作品から、琳派に見られる主題、技法、色、形、などが観られる123作品を厳選し展示しました。



■第205回 ヘルムート シュミット展
 ニッポンのニッポン
 会期：平成27年11月9日～12月22日
 入場者：915名、一日平均25名

タイポグラフィアであるヘルムート・シュミットが、スイスのティポグラフィシエ・モナーツブレッテル誌に、日本の暮らしの道具を紹介した記事を題材に日本のカタチを紹介する企画展としました。記事から写真、文章を引き出し、大判シートに出力し、本人のコレクションと合わせて展示しました。



■第206回 浅葉克己個展
 「アサバの血肉化」
 会期：平成28年1月15日～3月19日
 入場者：1623名、一日平均30名

浅葉克己の過去から現在まで、継続的に続けてきたクリエイティブ活動の中で血となり肉となったエッセンスを紹介した展覧会です。本展は、ggg、CCGAを一連のシリーズとして、その都度、改変しながら巡回してきました。本人のもつ創造欲、継続力、身体力から生みだされるアサバデザインを、次の時代に伝える企画としました。



(3) CCGA 現代グラフィックアートセンター(福島)の展示

〒962-0711 福島県須賀川市塩田宮田 1

午前 10:00～午後 5:00(入館は午後 4:45 まで)

一般=300 円 / 学生=200 円 / 小学生以下と 65 才以上、障害者手帳をお持ちの方は無料。

■第 65 回 開館 20 周年記念

21 世紀のグラフィック・ビジョン

会期: 平成 27 年 3 月 1 日～6 月 7 日

入場者: 881 名 一日平均 10.5 名

CCGA開館20周年を記念する企画展を開催しました。田中一光、福田繁雄、永井一正のアーカイブ作品とタイラーグラフィックアーカイブの代表作品90点を展示しました。



■第 66 回 DNP グラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品

浅葉克己ポスターアーカイブ展

会期: 平成 27 年 6 月 13 日～9 月 13 日

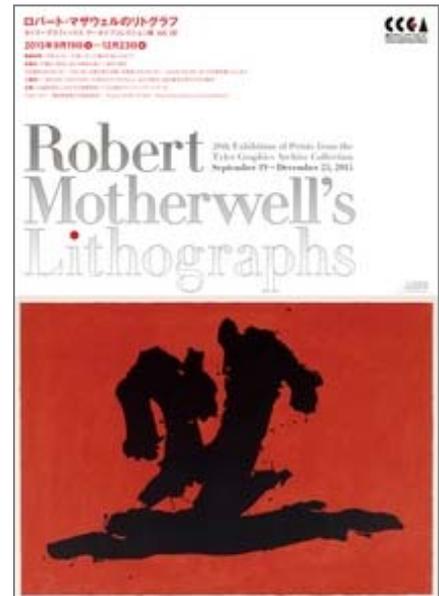
入場者: 734 名 一日平均 9.6 名

浅葉克己ポスター作品の代表作140点の展示と本人が長年書き続けてきた日記などの展示で、「浅葉デザイン」がどのように生み出されてきたかを紹介しました。



■第 67 回「ロバート・マザウェルのリトグラフ
 タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展 Vol.28」
 会期：平成 27 年 9 月 19 日～12 月 23 日
 入場者：605 名 一日平均 7.5 名

今年で生誕100年を迎えるロバート・マザウェルのリトグラフを中心とする所蔵品45点を展示しました。



■CCGA の特別展「第27回田善顕彰版画展」を開催
 主催：須賀川商工会議所青年部
 後援：須賀川市、須賀川市教育委員会他
 協力：公益財団法人DNP文化振興財団、(一社)CWAJ
 会期：平成 28 年 2 月 7 日(日)～2 月 13 日(土)
 入場者：493 名 一日平均 70.4 名
 須賀川在住の小中学生対象版画コンクール受賞作品展。
 応募総数 2,922 点の中から入賞・入選作約 220 点を展示しました。



■特別展 DNP グラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展

THE NIPPON POSTERS

会期：平成 27 年 12 月 4 日～12 月 23 日

入場者：2879 名、一日平均：152 名

会場：日比谷図書文化館 1 階特別展示室

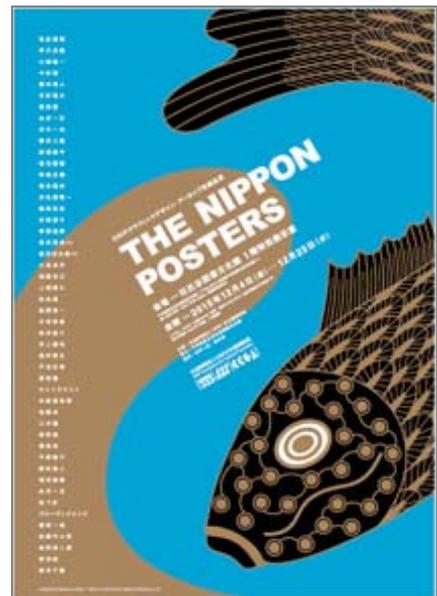
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4

11:00-19:00(土曜 18:00、日曜・祝日 17:00 まで)

入場無料

協力：千代田区立日比谷図書文化館

gggのリニューアル休館中のため、日比谷図書文化館で特別展を開催。京都dddギャラリーの開館記念展として開催した企画展を巡回しました。



■特別展 祖父江慎+コズフィッシュ展

ブックデザイン

会期：平成 28 年 1 月 23 日～3 月 23 日

入場者：15312 名、一日平均：260 名

会場：日比谷図書文化館 1 階特別展示室

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4

10:00-20:00(土曜日は 19:00pm、日曜・祝日は 17:00pm まで)

観覧料：一般 300 円 大学・高校生 200 円

主催／共催：千代田区立日比谷図書文化館／
公益財団法人DNP文化振興財団

日比谷での特別展の第二弾として祖父江慎のブックデザイン展を開催しました。本がどのようにつくられるのか、装丁やブックデザインの紹介から本の魅力をアピールしました。



3 教育・普及関連事業

(1) ギャラリートーク(セミナー)

展覧会の開催に合わせて27回のギャラリートークを開催しました。

ggg(東京)会場: 16回 908名 / ddd(京都)会場: 11回 960名

ギャラリートークは、会場のセミナー会議室、展覧会場、周辺施設(大学)などを使って、展示作家、キュレーターの方々等に、講演形式、対談形式などでグラフィックデザイン、アートへの思いを語っていただき、グラフィックアート、デザイン文化の普及促進につなげています。

セミナーのインターネット中継は、dddでもスタートし、不特定多数の方の参加機会がより増加しました。

CCGA(福島)では、来館者の希望に応じて無料のギャラリー解説を行なっています。



(2) 版画工房(CCGA/ワークショップ)

CCGAを版画鑑賞および版画教育の拠点とするために版画工房を開設し、以下の講座を開講しました。

●第1回 カラー・エッチング講座

日時:5/16(土)、5/23(土)、5/30(土)、6/6(土) 全4日間

各日 10:00~16:00

講師:三浦麻梨乃氏(版画家/2012年第1回ワークショップ講師)

概要:2012年、2013年に開催してきたエッチング講座の発展的内容として、ヘイター刷りという技法を用いた一版多色刷りエッチングを学ぶ

受講者数:10名(24名応募)

●第2回 かんたんリトグラフ講座

日時:Aコース 10/3(土)、10/10(土)/Bコース 10/17(土)、10/24(土)

各日 10:00~16:00

講師:CCGA 学芸員

概要:軽オフ用ポリエステルシート版を用いた初心者向け簡易リトグラフ講座

受講者数:Aコース 9名/Bコース 10名
(計 28名応募)

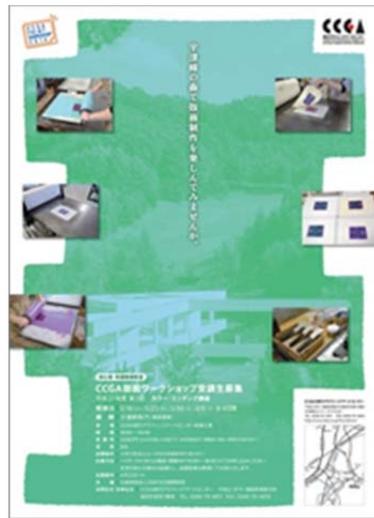
●第3回 木口木版と活版印刷でカードづくり

日時:11/7(土)、11/14(土)、11/21(土)、
11/28(土) 各日 10:00~16:00

講師:野口和洋氏(2012年第2回講師)

概要:木口木版と亜鉛凸版を組み合わせ、DNP 所有のアルビオン・プレスで印刷し、クリスマスカードや年賀状などオリジナルのカードを制作

受講者数:10名(13名応募)



●特別版画ワークショップ

対象:国際アート&デザイン専門学校/講座:シルクスクリーン/日程:7月18日

●版画工房一般開放

ワークショップ開講日以外の土曜日に工房を一般に開放しています。(1、2月は冬期休館)



(3) ggg Books

ggg Books を 5 タイトル発行しました。

『ggg Books -115 スタンリー・ウオン』: 1,165 円、1500 部

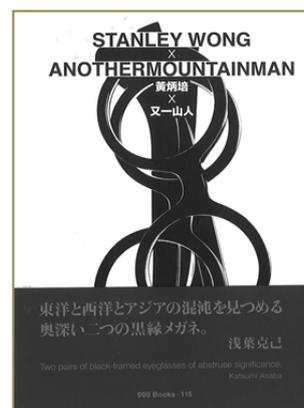
『ggg Books -116 色部義昭』: 1,165 円、2000 部

『ggg Books -117 大日本タイポ組合』: 1,165 円、2000 部

『ggg Books -118 ライゾマティクス』: 1,165 円、1500 部

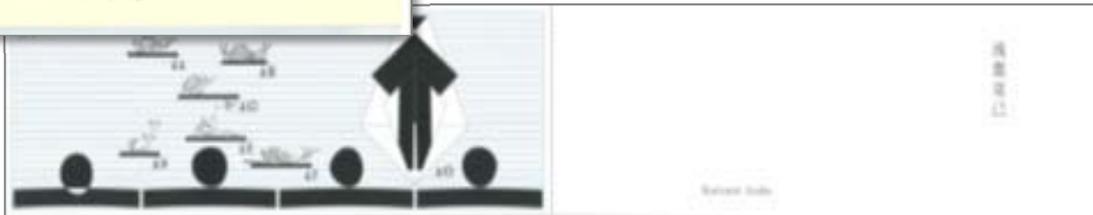
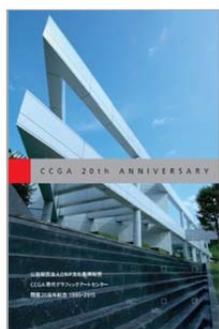
『ggg Books -119 ヘルムート・シュミット』: 1,165 円、1500 部

ggg Books は電子書籍版も発行しました。



(4) 図録等の発行と頒布

ペルソナ1965展、ポール・デイビス展、THE NIPPON POSTERS展、21世紀のグラフィックビジョン展の開催に合わせて、作品解説、図録を作成しました。



4 国際交流関連事業

(1) 「松永真 半径三米」展の中国開催に協力

中国深圳で開催された「松永真 半径三米」展開催にキュレーターとのコミュニケーション支援他、展覧会オープニング、マカオでの講演会で、中国の学生やマスコミ、デザイン関係者との交流を行いました。

企画展 「松永真 / 半径三米」

会期： 2015 年 10 月 17 日～11 月 29 日

主催： OCT アート&デザインギャラリー(華・美術館)

キュレーター： ジャンピン・ヘ

総入場者数： 約 10,000 人

(2) AGI(国際グラフィック連盟)日本会員事務局サポート

2015 年度 AGI 新会員推薦活動を支援し、日本からは4名が新会員となりました。

AGI 総会(開催地： スイスのビール/ビエンヌ)に参加(9 月 21 日～9 月 25 日)し、日本会員にイベントやレクチャーのハイライトおよび、会員会議での重要事項などを報告しました。

5 研究助成関連事業

(1)平成27年度年間研究助成プログラムを以下の2部門を対象テーマとして実施しました。

●募集テーマ

A 部門≪グラフィックデザイン、グラフィックアート全般をテーマとする研究。≫

ポスター、書籍デザイン、ウェブデザイン、版画などを対象とするコミュニケーション、印刷複製、表現の理論、技術、知識、歴史をテーマとする学術研究。

B 部門≪グラフィックデザイナー、田中一光に関する研究。≫

当財団が保有する田中一光アーカイブを活用した、田中一光の業績、時代考察、社会的意義などをテーマとした研究。

●平成27年度採択研究

A 部門 (12 件)

1) 「グラフィックデザイナーの著作権と生計に関する日仏比較研究」

長塚真琴 一橋大学 大学院法学研究科教授 50 万円助成

2) 「フィリピン・マルコス時代における政治的グラフィック・アート」

黒田雷児 福岡アジア美術館事業管理部長・学芸課長 50 万円

3) 「災害におけるカラーバリアフリーの表示」

土田賢省 東洋大学総合情報学部教授 50 万円

- 4) 「メディアとしての明治期・木版多色摺り図画教科書
—京都画壇関係者による学校教育を通じた芸術発信に関する検討—」
竹内晋平 奈良教育大学 美術教育講座准教授 50万円
- 5) 「コトバ×デザイン×コミュニティ～消滅危機言語復興研究におけるデザインのちから」
山田真寛 京都大学学際融合教育研究推進センター アジア研究教育ユニット
特定助教 40万円
- 6) 「イギリスの大衆紙『ザ・グラフィック』とファンシー・ピクチャーの復権に関する研究」
佐藤直樹 東京芸術大学美術学部芸術学科准教授 50万円
- 7) 「近代日本の広告図像における少女の表象とその受容」
前川志織 京都工芸繊維大学美術工芸資料館技術補佐員 50万円
- 8) 「戦後首都理想図—ヴィジュアル・コミュニケーションにおける「東京」の
グラフィック・デザイン」
OSAWA Kei 東京大学総合研究博物館特任研究員 50万円
- 9) 「日本近世の「施印」に関する基礎研究—国内・国外調査と事例研究」
ニールス・ファンステーンパール
京都大学大学院文学研究科白眉プロジェクト特定助教 50万円
- 10) 「死者イメージの視覚化に関わるヴァナキュラーな信仰実践の研究」
小田島建己 東北大学大学院文学研究科専門研究員 50万円
- 11) 「アートディレクター・石岡瑛子研究」
河尻享一 東北芸術工科大学企画構想学科客員教授 35万円
- 12) 「蘭字～日本近代グラフィックデザインの「始まり」の根とその発展」
吉野亜湖 静岡産業大学情報学部非常勤講師 50万円

B部門 (1件)

- 13) 「田中一光の造形的特質・切り絵の造形から：田中一光アーカイブ資料をもとに」
深谷 聡 奈良県立美術館学芸員 50万円

●平成26年度採択研究継続助成 (10件)

- 1) 「近代日本のポスター史に関する総合研究～翻案・創造・展開～」
田島奈都子 青梅市立美術館学芸員 50万円助成
- 2) 「タイポグラフィの観点から分析した東アジアのオノマトペ
—相違と類似性に関する研究」
金 晃均 国立韓国芸術総合大学教授 40万円
- 3) 「グラフィック文化としての近代ポルノグラフィ史に関する基礎研究」
足立 元 無所属 30万円
- 4) 「近代グラフィック・デザイン運動における「世界統一規格」構想の再考
—もう一つの「ディー・ブリュッケ」を中心に—」
後藤文子 慶應義塾大学文学部准教授 50万円

- 5) 「教材としての Dr. Frantz Stoedtner 作成のガラススライド
—明治・大正期の新知識受容の一側面—」
和田積希 京都工芸繊維大学美術工芸資料館特任助教 10万円
- 6) 「多様なグラフィックデザインの創作及び伝播を実現するための
環境整備のあり方について—社会科学の観点から」
小島 立 九州大学大学院法学研究院准教授 30万円
- 7) 「1950年代における田中一光のデザイン活動
—戦後日本のグラフィックデザインの転換期についての分析—」
山本佐恵 25万円
- 8) 「Metabolism in Visual Culture: 1960年代の菊竹清訓と田中一光の共同について」
辻 泰岳 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻・
日本学術振興会特別研究員 40万円
- 9) 「Ikko Tanaka's graphic design as a recipient of Japanese art traditions
(日本美術の伝統の受容者としての田中一光のグラフィックデザイン)」
Rossella Menegazzo (ロッセラ・メネガッツ) ミラノ大学准教授 50万円
- 10) 「Tanaka Ikko and Japanese Modern Typography (田中一光と日本の現代タイポグラフィ)」
Mariko Takagi (タカギ・マリコ) 香港バプティスト大学視覚芸術アカデミー
准教授 50万円

●採択スケジュール

- 4月下旬 募集開始(募集チラシの配布、ウェブでの告知)
7月10日 募集締め切り
8月末 平成26年度採択研究中間報告書締切
9月17日 審査委員による一次審査(書類による審査)完了
9月30日 審査委員会による二次審査開催。採択研究を選考
10月上旬 採択者への通知、ウェブ上での公表

●審査委員メンバー

- 柏木 博(委員長).....武蔵野美術大学教授
前田富士男.....中部大学客員教授、慶應義塾大学名誉教授
井口壽乃.....埼玉大学教授
佐藤 卓.....グラフィックデザイナー、日本グラフィックデザイナー協会副会長
建畠 哲.....多摩美術大学学長、埼玉県立近代美術館館長
並木誠士.....京都工芸繊維大学美術工芸資料館館長



(2)平成27年度協賛助成実績（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	対象	主催	年月	金額	備考
1	第27回すかがわ国際短編映画祭へ協賛	すかがわ国際短編映画祭実行委員会／須賀川市教育委員会	2015/1	30,000 円	短編映画フェスティバルおよびコンペ
2	須賀川地区高校美術部研修会	須賀川地区高校美術部連盟	2015/5	46,440 円	CCGAで開催される須賀川地区の公立高校美術部員の研修会
3	第27回田善顕彰版画展へ協賛	須賀川商工会議所青年部／須賀川市教育委員会後援	2016/2	50,000 円	須賀川出身の江戸期の銅版画家、垂欧堂田善(あおうどうでんぜん)顕彰を目的とする、市内小中学生対象の版画コンクール

(3)会員参加

事業目的にふさわしい以下の団体の会員となっています。

1. 東京イラストレーターズ・ソサイエティ / 賛助会員
2. 東京アートディレクターズクラブ / 賛助会員
3. 公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会 / 賛助会員
4. 東京タイプディレクターズクラブ / 法人・団体会員
5. 公益財団法人助成財団センター / 会員
6. 全国美術館会議 / 会員館(CCGA現代グラフィックアートセンター)

6 会議の開催

●第10回理事会

(平成 27 年 5 月 25 日 月曜日)

提案(1)平成 26 年度(4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)事業報告および収支決算について

提案(2)評議員会の招集について

●第6回 評議員会

(平成 27 年 6 月 9 日 火曜日)

DNP五反田ビル 24階 会議室

東京都品川区西五反田3-5-20

第1号議案 議長の選任について(決議事項)

第2号議案 議事録署名人選出について(決議事項)

第3号議案 平成 26 年度(4 月 1 日～3 月 31 日)事業報告書について(報告事項)

第4号議案 平成 26 年度(4 月 1 日～3 月 31 日)決算報告書について(決議事項)

●第11回 理事会

(平成 27 年 6 月 9 日 火曜日)

DNP五反田ビル 24階 会議室

東京都品川区西五反田3-5-20

第1号議案 理事長および専務理事の業務執行状況について(報告事項)

●第12回理事会

(平成 28 年 3 月 8 日 火曜日)

DNP銀座ビル3階 302、303 会議室

東京都中央区銀座7-7-2

第1号議案 寄附金の受入について(決議事項)

第2号議案 事業計画、予算計画について(決議事項)

第3号議案 利益相反取引の承認について(決議事項)

第4号議案 資金調達及び設備投資の承認について(決議事項)

第5号議案 役員候補者の推薦について(決議事項)

第6号議案 評議員候補者の推薦について(決議事項)

第7号議案 審査委員の選任について(決議事項)

第8号議案 研究助成プログラムの助成金交付について(決議事項)

第9号議案 協賛計画について(決議事項)

第10号議案 理事長および専務理事の業務執行状況の報告について(報告事項)

以上